

2024年12月19日

各位

ENEOS株式会社

国土交通省のSAF導入支援実証事業に採択されました

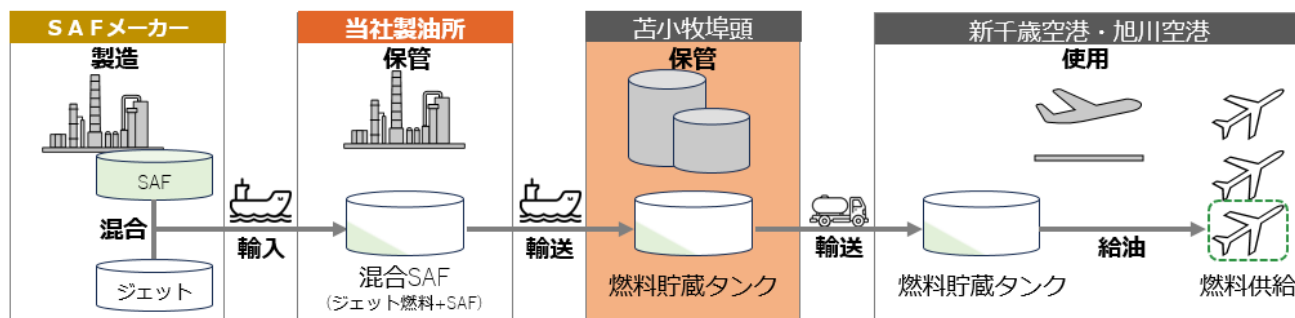
当社（社長：山口 敦治）は、国土交通省が公募したSAF（持続可能な航空燃料）の導入を検討している地域の空港への支援実証事業に採択されましたので、お知らせいたします。この事業では、地方自治体や民間企業等と連携しSAFサプライチェーンの実証を行います。

今般採択された実証を通じ、当社は国内地方空港におけるSAFサプライチェーンを構築すべく、新千歳空港および旭川空港にて、全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、株式会社AIRDOの3社へSAFを供給いたします。また、SAF導入を全国へ展開するにあたっての課題点の把握・分析を行い、国産SAFサプライチェーンの構築に向けた検証を行います。

当社は、ENEOSグループの長期ビジョンにおいて、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」の両立に向け挑戦することを掲げています。その一環として、和歌山製造所にてSAF製造を計画しており、それに向けてSAFの原料調達から自社製造および販売に至るまでの一貫体制の構築を進めています。

今後も、ステークホルダーのみなさまとともに国産SAFの普及促進を目指し、航空業界の脱炭素化に資する取り組みを共同で進めてまいります。

【実証フロー図及びジェット輸送船が着桟する苫小牧埠頭株式会社苫小牧ターミナルの様子】



以上